

学校名 鶴ヶ島市立藤小学校

所在地 鶴ヶ島市大字藤金330番地

電話 049-271-4287

1 本校の概要

本校は昭和58年に開校し、今年で42年目を迎える。児童数478名、特別支援学級を含め19学級の中規模校である。学校教育目標「進んで学ぶ子 思いやりのある子 最後までがんばる子」をもとに、一人一人が輝き笑顔があふれ、夢と自信と誇りを育てる学校を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・各教科等における学習に結び付けた取組
- ・司書教諭・学校司書などを活用した取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

本校では夏休みの課題として図書館振興財団主催の「図書館を使った調べる学習コンクール」(以下、「しらベコン」)に取り組んでいる。担任・市立図書館・学校司書の協働授業により、生涯において役に立つ「調べる力」の育成をねらう。

ア 市立図書館スタッフによる事前講座

本校では3年前より、4～6年生は「しらベコン」を夏休みの必須課題としている。対象学年へ6月に事前講座を行い、「テーマ設定の仕方」「論文の構成」「出店・引用の仕方」過去作品について学んだ。



イ 学校司書による授業内でのフォローアップ

講座後は各クラス図書の時間を利用して、学校司書によるレファレンス・導入している電子書籍サービスYomokka!・学校図書館にて資料探しやWEB上での情報検索を行った。学年によっては表紙、参考文献リストの作成指導まで行い、1学期から着手することで最後までやり通す意欲を押し上げた。

ウ 自主学習ノートとの連携や効果的な振り返り学習

本校では家庭学習の定着を図るねらいで、1日見開き2ページの自主学習ノート提出に取り組んでいる。「しらベコン」においてはテーマ設定が自由ゆえに決めかねている児童も多い。このノートを持ち寄らせ、発展させたいテーマはないか相談に乗り、これまでの学習とのつながりを意識させた。また、今年度は作品返却後に再度、図書館スタッフとの振り返り学習を予定している。作品をほめてもらい、改善点を確認し、児童同士の作品を鑑賞しあう中で、次年度以降さらに意欲と調べる力を伸ばすことができる。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

鶴ヶ島市地域コンクール結果

令和6年 市内317点中220点出品69%・入賞10名

令和5年 市内291点中201点出品69%・入賞14名

令和4年 市内269点中167点出品62%・入賞7名

中学進学後もコンクールへ応募し、全国展へと出品を果たした生徒もいる。

(2) 課題

論文の構成、事実と意見を分ける、引用・出典に苦戦する児童が多く、丁寧な指導が必要。

学校図書館においても児童の興味に合わせた蔵書が追いついていない。普段の授業・自主学習において担任との継続的な連携が求められる。